

# 農林水産統計・情報の新展開

—— 新規政策ニーズに即した統計の重点化、  
情報受発信機能の強化 ——

平成 1 4 年 9 月

農林水産省大臣官房統計情報部

# 目 次

## 情報受発信機能の強化

緊急・重要な政策課題への対応・・・・・・・・・・・・・・・・	1
国民のニーズに即した農林水産施策に関する情報発信・・・・・・・・	2
消費者・生産者の意見、農林漁業現地情報の把握・フィードバック・・・・・・・・	3
農林水産業、農山漁村のＩＴ化の推進・ＩＴ講習会の実施・・・・・・・・	4

## 新規政策ニーズに即した統計の重点化

食料消費・食品産業統計の充実・・・・・・・・・・・・・・・・	5
多品種少量生産等多様化に対応した生産統計の充実・・・・・・・・	7
農業構造改革に向けた統計の充実・・・・・・・・・・・・・・・・	8
都市と農村の共生・多面的機能等農山漁村地域の実態把握・提供の充実・・・・	10
ＩＴ化に対応した統計情報の収集、集計・分析、提供の合理化・効率化・・・・	12

## 情報受発信機能の強化

### 緊急・重要な政策課題への対応

- ・ 農林水産施策遂行上の緊急・重要な政策課題・施策内容についての的確に理解してもらうため、市町村・農協や地域のオピニオンリーダー等に対する農林水産統計・情報センターによるフェイス・トゥ・フェイスでの情報発信

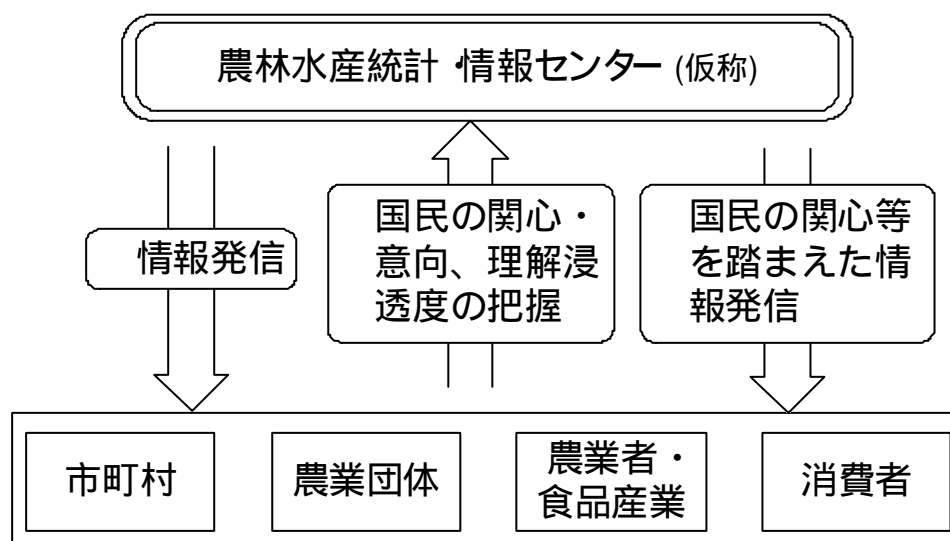
### これまで

- ・ B S E に関連した牛肉の安全性の理解促進（市町村、農協、学校関係者）、テロ対策に関連した農薬管理の徹底（市町村、農協、地域農業者）等フェイス・トゥ・フェイスでの情報発信を実施

### 今 後

- ・ その時々々の緊急かつ重要な政策課題へ対応するため、一層きめ細かな情報発信

適時・的確な情報発信を行うため、緊急を要する政策課題に関する国民のニーズや理解浸透度を迅速に把握するための「緊急・重要情報フィードバック・システム」を整備



## **国民のニーズに即した農林水産施策に関する情報発信**

### **農林水産統計・情報センターのホームページ、メールマガジン**

- ・ 農林水産統計・情報センターを拠点として、農林水産行政情報と併せて、一層地域に密着した情報を提供

#### **これまで**

- ・ 地域統計分析書、情報発信誌による地域農林水産業統計を中心とする情報提供

#### **今 後**

- ・ 農林水産統計・情報センターのホームページ、メールマガジンという電子媒体により幅広く適時に情報発信  
特に、食料消費・食品に関心の高い主婦層や都市住民の農林水産業・農山漁村に関する理解の増進に配慮し、  
主婦層を対象とした「食生活・食品情報コーナー」の開設  
伝統食品、地域農林水産物情報を充実  
都市住民を対象とした「都市・農山漁村の交流情報コーナー」を開設
- ・ ホームページを高齢者や障害者等へも配慮し、音声、画像情報の充実により、より親しみやすいものに改善

### **子供たちへの食農教育のための出前授業等**

- ・ 小中学校における総合学習に対応した食農教育のための出前授業、農林水産祭等地域のイベントにおける地域農林水産情報、農林水産行政情報の提供

#### **これまで**

- ・ 小中学校における食農教育のための出前授業を、教育関係者側の要望に応じ、実施（全国延べ250回）

- ・ 農林水産祭等地域のイベントにおいてパネル展示による情報提供（全国延べ238回）

#### 今 後

- ・ 教育関係者等との協議会（食農教育連絡会）を設けるなどの体制作りにより、食農教育を一層積極的・組織的に展開
- ・ 食農教育等出前授業、地域イベントにおける農林水産情報発信を機動的に行うための移動巡回情報ブース（ワンボックス車に音声・画像情報が提供できる農林水産関係情報機器をワンセット整備）を整備
- ・ 農林水産統計・情報センターにおいて「子供見学デー」を開催し、食農教育を実施

### 消費者・生産者の意見、農林漁業現地情報の把握・フィードバック

- ・ 農林水産統計・情報センターの活動による消費者、生産者の農林水産施策に関する情報の的確な把握、関係部局への伝達とフィードバック等情報の双方向化

#### これまで

- ・ 全国に配置された消費者、生産者モニター（約8,000名（農林漁業者約5,000名、消費・食品産業約3,000名））との定期的な交流会・アンケートによる意向把握
- ・ 食に関する意識、認定農業者の経営意向等、農林水産施策の推進に必要な情報の把握
- ・ 新技術、新作物等地域農林漁業における新たな取組に関する情報の把握

#### 今 後

- ・ その時々農林水産施策の推進上必要となる情報を、インターネット等を活用して適時・機動的に把握

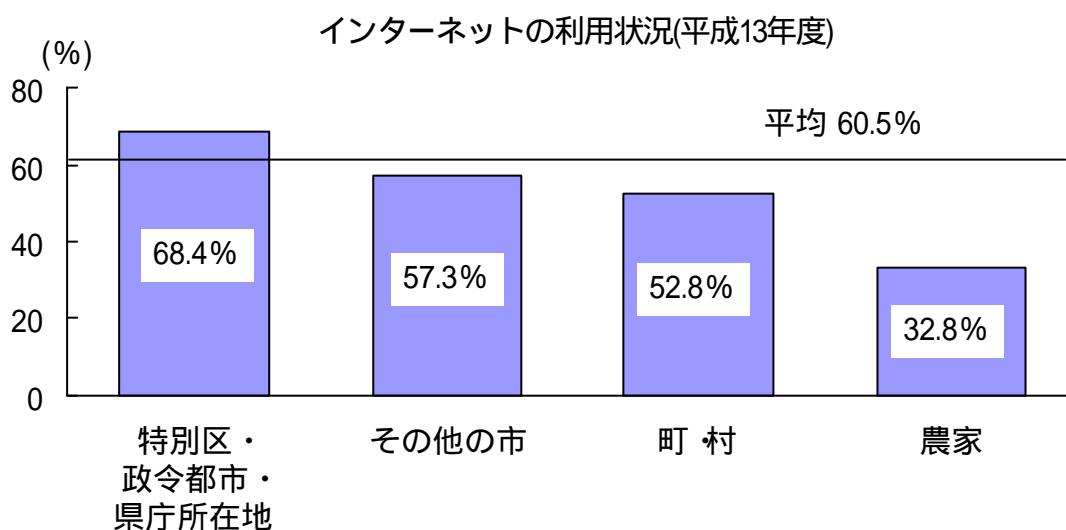
- ・ 把握した情報をインターネット、ＬＡＮを活用して機動的に発信（フィードバック）することによる情報の双方向化

### 農林水産業、農山漁村のＩＴ化の推進・ＩＴ講習会の実施

- ・ 農林漁業者、農山漁村のＩＴ化に向けて、地域の拠点として農林水産統計・情報センターを活用

### 今 後

- ・ 農林漁業者に対する経営改善のためのＩＴ講習会等を通じ、農山漁村地域のＩＴ化推進のための専門拠点機能を発揮



出典：総務省「通信利用動向調査（世帯調査）」

農林水産省「農家のパソコン・インターネット利用状況アンケート」

## 新規政策ニーズに即した統計の重点化

農林水産統計については、構造改革の推進等農林水産施策全般の改革、農林水産業・食品産業等関連産業の実態に即し、効率化・重点化

これにより、新規政策ニーズに即した統計の収集、その結果の迅速かつ利用しやすい形での提供

### 食料消費・食品産業統計の充実

#### これまで

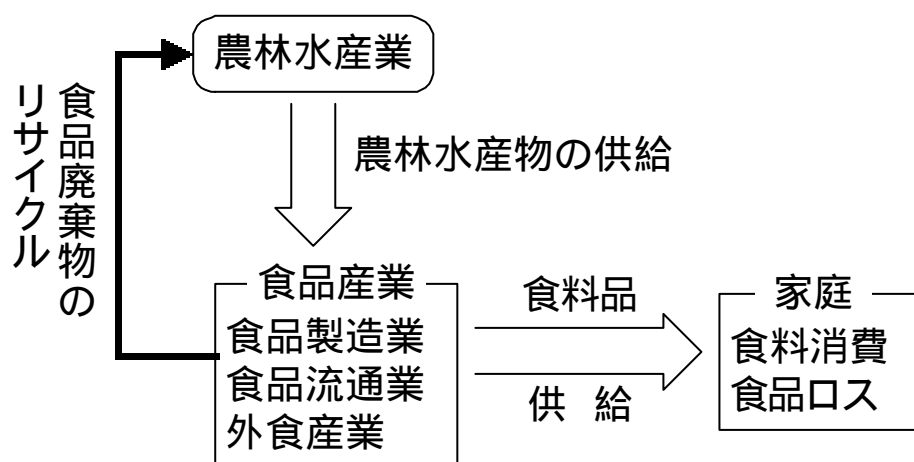
- ・ 農林水産統計は、農林水産生産に重点

#### 今 後

- ・ 消費者を基点に、川下から川上までを一体としてシステムとして捉える統計体系に整備

### 家庭における食料消費・食品ロス、食品産業のリサイクルの実態把握

- ・ 食生活指針に基づく施策の展開に向けて、家庭における食品ロス実態だけでなく、家庭・外食での食料消費の実態を把握
- ・ 食品産業（食品製造業、食品流通業、外食産業）の食品廃棄物のリサイクル状況を把握



## 食品産業の実態把握

- 食料支出において、加工食品が5割、また、外食が3割を占める中で、農林水産物の販路として食品産業（食品製造業、外食産業）の重要性が増しており、これに対応して、その原材料調達状況を把握

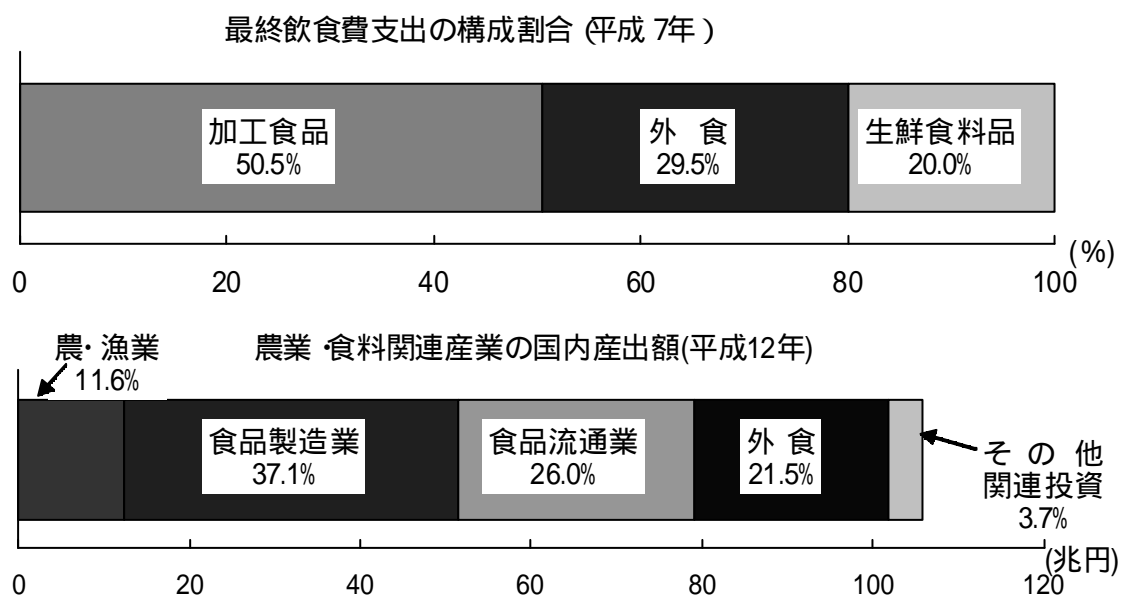
また、食品表示におけるトレーサビリティシステムの実施・導入状況等の実態を把握

## 食品流通構造の実態把握

- 流通の多様化や国際化に対応し、卸売市場流通のみならず市場外等の流通実態を明らかにするため、青果物、水産物及び畜産物の主要品目ごとに生産から小売に至る物流の全体像を総合的に把握

## 食品流通段階別コストの実態把握

- 食品流通の効率化に向け、主要品目について流通段階別のコストと価格を総合的・一体的に把握





## **多品種少量生産等多様化に対応した生産統計の充実**

### **これまで**

- ・ 主要作物の生産について一律の量的把握に重点
- ・ 米麦の品種別生産動向を追加、野菜、果樹、花きの調査対象品目を拡大し、統計調査体系を整備

### **今 後**

- ・ 多品種少量生産・多銘柄化・高付加価値化の動きに的確に対応
- ・ 有機農業や地域の特色ある農林水産物生産の実態をよりの確に把握

### **地域資源を活用した産地ブランド確立状況の把握**

- ・ 地域資源を活用した特色ある農林水産物の開発、伝統食品の商品化、流通業者と農業者との連携による産地ブランドの確立等の動きを把握

### **有機農業の実態把握**

- ・ 有機農業等地域の特色ある農業経営の実態を把握

### **畜産経営の自給飼料基盤の把握**

- ・ 畜産環境対策、畜産経営の安定等の観点から粗飼料の供給状況、自給飼料基盤に関する統計を充実

### **生産統計の精度の向上**

- ・ 消費者の食料品に対する品質指向に対応して、気象災害等の作物の品質低下への影響(高温による乳白米発生、カメムシ被害等)を的確に把握
- ・ 地理情報システム(GIS) 地籍調査等関係情報の活用、母集団整備による耕地・作付面積統計の一層の精度向上により、精度の高い地域統計ニーズに対応

## 農業構造改革に向けた統計の充実

### これまで

- ・ 農林水産業労働の総量や農業経営の平均的な姿の把握に重点

### 今 後

- ・ 農林水産業の活性化という観点から新規就業者の動向、高齢化
- ・ 生涯現役時代に対応した高齢者の就業実態、男女共同参画社会に向けた女性労働の実態把握に力点
- ・ 「育成すべき農業経営」の実態が明らかになるよう多様な農業経営体の経営実態のきめ細かな把握
- ・ 農業経営の発展過程の長期的把握

### 新規就農者の就農事情等多様な実態のきめ細かな把握

- ・ 新規就農者の状況について、学卒就農者、他産業からの就農者に加え、新たに法人への就農、女性の結婚による就農等多様な新規参入の実態を把握するとともに、就農に至る事情、農業に定着した者のその後の動向の把握  
林業、水産業についても同様の調査を実施

### 女性労働の実態把握

- ・ 男女共同参画型社会の実現に資するため、女性の農林水産業における就業実態、労働環境等の就業構造、家庭内の地位、役割分担に関する実態を把握

## 育成すべき農業経営のきめ細かな把握

- 1 農業構造改革の推進に資するため、農業経営所得安定対策に対応できる新たな農業経営統計体系へ移行

### **新たな経営統計体系のメリット**

- ・ これまでコメ等品目別中心に捉えていた農業経営を水田作等営農類型で捉え直すことにより、農業経営のトータルとしての実態をきめ細かに把握
- ・ 水田作経営、畜産経営等部門ごとに、よりの確に地域の経営実態を把握
- ・ これらを補完して品目別・畜種別にも把握対象・内容を充実

- 2 育成すべき農業経営について、統計調査のほか青色申告等の活用によりその経営実態を幅広く把握
- 3 農業経営組織経営体について、法人や集落営農といった多様な経営実態をより幅広く把握
- 4 農業経営の長期的な発展過程を明らかにするため、個別事業体の経営実態を定点観測  
林業経営についても、同様の調査を実施
- 5 有機農業等環境保全型農業経営の経営分析

## ライフスタイルの変化を背景とした農山漁村における多角的な取組の把握

- ・ 都市と農村の共生・対流に対応した観光農園、農家民宿、伝統食品等農産加工、伝統食品・農産物の朝市やインターネットによる直売等農山漁村における多角的な取組実態を把握

## 都市と農村の共生・多面的機能等農山漁村地域の実態把握・提供の充実

### 農林業センサス（平成17年2月実施）において、農業構造とともに、農山村地域に関する基本統計としての機能の充実

- 1 基本統計として、新たな農業政策の展開に向けた農業、森林・林業、農山村の構造の的確な把握
- 2 森林・林業、農業・農山村の多面的機能を含めた地域実態を農山村地域調査として一体的に把握
  - 森林・林業の多面的機能の把握
  - 例)・ 水源かん養林、土砂流出防備林、保健・レクリエーション林の状況把握
    - ・ 体験学習林等の状況把握
  - 農業・農村の多面的機能の把握
  - 例)・ 体験学習田、市民農園等の設置状況
    - ・ 棚田、谷地田、ため池、水路の保全状況
    - ・ 伝統家屋等農村景観の保全状況
    - ・ 農家民宿、朝市等農家直売、観光農園等都市農村交流の実態
    - ・ 都市と農村を双方向で行き交うライフスタイル（デュアルライフ）の実態
- 3 地図情報、国勢調査等他統計・行政情報とのリンケージによる農山村地域の多角的な把握とデータベース化

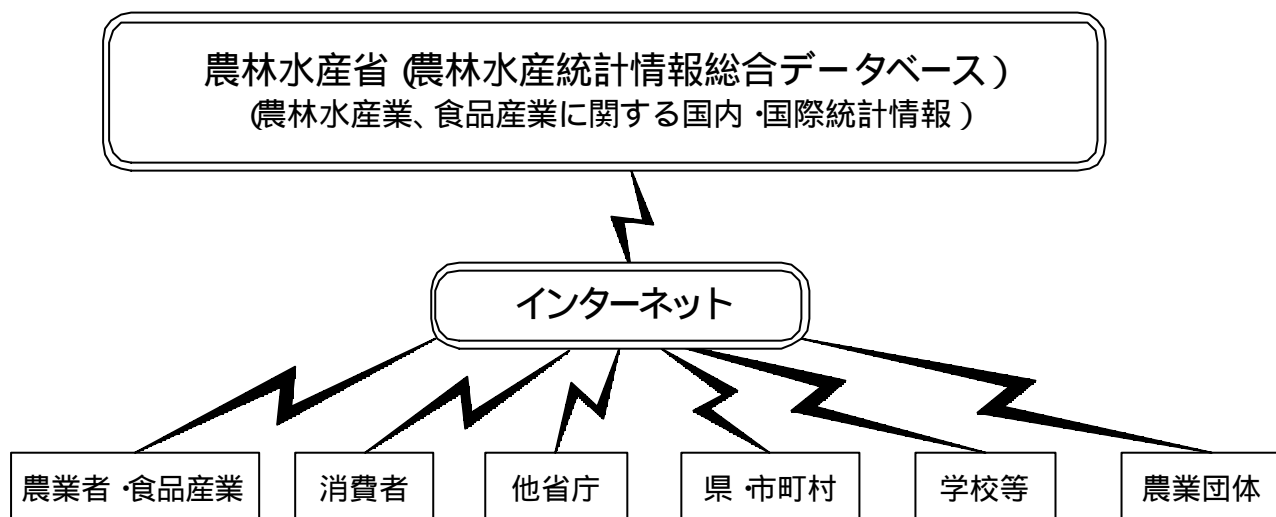
漁業センサス(平成15年11月実施)において、生産構造とともに、  
漁村地域に関する基本統計としての機能の充実

- 1 基本統計として、新たな水産施策の展開に向けた漁業生産・漁村の構造の的確な把握
- 2 藻場、干潟の保全、都市と漁村との交流等漁村の多面的機能の把握  
遊漁については、これまでの遊漁船によるものに加え、プレジャーボート、岸壁・磯場等における全体像を把握
- 3 地図情報、国勢調査等他統計・行政情報とのリンケージによる漁村地域の多角的な把握とデータベース化

## ＩＴ化に対応した統計情報の収集、集計・分析、提供の合理化・効率化

### ＩＴ化に対応した農林水産統計情報総合データベースによる 情報提供

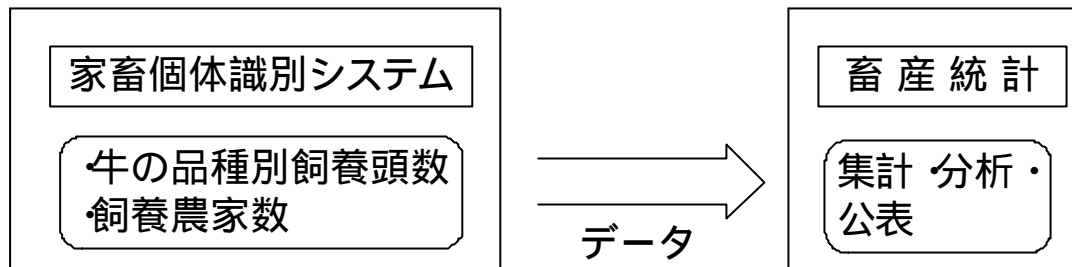
- ・ 我が国経済社会のＩＴ化の進展に対応して、国民への積極的な情報提供に向け、農林水産省ホームページからアクセスできる一元的で利用しやすい「農林水産統計情報総合データベース」、いわば電子版「ポケット農林水産統計」を構築(平成15年４月から供用開始)



- ・ 農林水産関係統計データの体系的蓄積と重要項目の長期累年データの整備 (平成15年４月供用開始)
- ・ 地域資源情報提供システム (農村振興局) 等省内の他データベースとのリンク (平成15年４月開始)
- ・ 農林漁業センサス結果をもとに地図情報と組み合わせた地域情報の整備 (平成17年度供用開始)

## 家畜個体識別システムを活用した畜産統計への移行

- ・ 乳用牛・肥育牛については、これまでの年2回把握から、家畜個体識別システムを活用して、品種別頭数など飼養動向をきめ細かく迅速に把握するよう改善



## OCR（光学式文字読み取り装置）の全面的導入

- ・ OCRの導入（平成14年2月）により、統計調査を効率化
- ・ 既にOCR化しているもの19調査、検討中5調査
- ・ これにより全面的にOCR化（データ入力を外部化しているもの、FD（フレキシブル・ディスク）化しているもの等を除く）

## インターネットを活用した統計調査の検討

- ・ インターネットを活用することにより、統計調査の調査負担の軽減と集計の効率化・合理化
- ・ インターネットを活用した試行調査を実施し、本格導入に向け検討

## リモートセンシング（高度衛星画像情報処理技術）を活用した耕地面積、作付面積調査の実用化を検討

## POS情報、加工食品・外食等食品産業界データの幅広い活用方策の検討

## **合理化した調査**

- ・ 統計業務について、不断の見直しにより、政策的必要性に応じ、廃止など合理化を推進
  - 1 廃止  
14年度 9 調査
  - 2 統合  
15年度 4 調査
  - 3 簡素化・縮小  
14年度 4 調査
  - 4 職員による調査から調査員調査化  
13～15年度 4 調査
  - 5 郵送調査化  
13年度 4 調査